

# 神戸だより

台湾交流支援の会 2019.3発行 Vol.17

## < 節分の日の恵方巻きかぶり > 井上 美恵子

節分とは今は一般的に立春の前日です。春は年の始まりであり、季節の変わり目は邪気が生じるという考えから鬼払いなどの儀式が行われるのが一般的です。この節分の夜には「恵方巻き」を食べるという家庭が増えています。恵方巻きの「恵方」とはその年に歳徳神様がいる方向のことで毎年この方角は変わっていきます。今年は東北東でした。



体ごと恵方の方向を向き願い事をしながら巻き寿司を丸かじり、途中で休憩したり、おしゃべりしたりせず無言で一気に最後まで食べるのがポイントです。恵方巻きは太巻きをカットせずに食べるのが特徴です。丸かぶりすることには意味がありこれは神様との縁が切れないようにするため、又無言で食べるのも神様からいただいた福が口から出ていかないようにするためだとされています。

恵方巻きの丸かぶりは縁起を担いだユニークな日本の季節行事といえます。一方で巻き寿司の過剰生産により食品ロスも問題視されるようになりました。農林水産省が恵方巻きについて需要に見合う販売を行うよう、文書で通知する対応が行われました。日本も今一度立ち止まって暮らし・環境・資源を考える機会になれば良いなあと思います。日々の暮らしに感謝しながら巻き寿司を1本黙々と平らげた私です。



(歳徳神(としとくじん)=その年の幸せを運んでくれる神様)

廃棄される売れ残った巻き寿司

## < 阪神電鉄が桃園メトロとの連携記念のラッピング列車を運行！ > 武藤 龍雄

阪神電鉄が、2019年3月9日から「阪神電車×桃園メトロ連携記念ラッピング列車」の運行を開始しました。

ラッピングとは車両の外側に特別の絵や文字のフィルムを貼ることです。今回は、桃園市の伝統工芸品である客家花布(はっかはなぬの)の生地色である水色と、桃園市の市花である桃をベースにしています。それぞれの車両に台湾を代表する風景や観光名所、グルメなどのイラストが描かれていて、目を引き付けます。ラッピング列車を見て乗って、日本人が台湾を知るきっかけになって欲しいです。また日本を訪れる台湾の方には日本



や阪神電車にもきっと親しみを感じてもらえると思います。ラッピング列車は今後、1年間運行される予定で、阪神本線・阪神なんば線のほか、阪神1000系電車が運用されている山陽電鉄線や近鉄線でも見られます。





ただ、6両1編成だけなので、前もって運行時間を調べて行かないと、お目にかかれません。もし、偶然出会えたら、よほどラッキーということです。現に今日(3月11日)は、尼崎・奈良間で運行されているとのことで、神戸市内で見るとはできませんでした。

## < 最近の日本のスキー場と外国人 > 高橋 幹夫

日本列島は南北に長い国で北部では冬多くの降雪があります。特に東北、長野、北海道地方には多くの人気スキー場があり外国人スキーヤーが大勢訪れます。中でも北海道はスキー場の広さ、雪質(パウダースノー)、食べ物、温泉があり多くの外国人に人気です。スキー場、ホテル、食堂では日本人より外国人の方が多いところもあります。あちこちで中国語、韓国語、英語が飛び交っています。私には中国の人か台湾の人か分かりませんが比率的には圧倒的に中国の人だと思います。



人気ナンバー1のニセコについて少しご紹介します。ニセコは北海道の西部に位置し千歳空港からバスで2時間のところですが。オーストラリア人から人気が高まり、フランス、ドイツなどヨーロッパ各国からスキーヤーが訪れるようになりました。ここ数年では香港、台湾を中心としたアジア圏からの訪問も増加している様です。雪の降らない国の方が雪を見るだけに訪れる観光もあります。日本では珍しくない雪も南の国の方には魅力的なんでしょう。外国人観光客が増える一方で色々影響もでています。ニセコ周辺の物価上昇です。ホテルやレストランも富裕層対象に値段が上がっています。最近では中国資本が運営しているホテルもあります。日本の大手不動産業者が開発したスキー場のホテルを中国資本が買収して運営しています。このホテルのスタッフは半分以上外国人で様々な国の方が働いています。スタッフは日本人の私に英語で話しかけてくることもあり、外国にスキーに来ている様で違和感を感じました。日本の旅館やホテルは如何にお客様に満足してもらうかを考え様々な努力をしています。これが日本の文化であり伝統です。ところが外資が運営するようになると、そのおもてなしの精神が継承されていない様に感じます。チェックイン対応が遅かったり、レストラン



ンでは食事が出るまで1時間以上かかったりという体験を何回もしました。外資が経営をしても日本の伝統、文化を引き継ぎ運営してもらいたいと願っています。この様に外国資本による日本の主な観光地などの買収、開発が行われていますが日本として果たしてこのままで良いのかと疑問を感じざるを得ません。